

事業用大規模建築物減量計画書 及び 事業系廃棄物減量明細記入方法



京都市南部環境共生センター
駒井 俊英

(表面)

事業用大規模建築物減量計画書

(宛先) 京 都 市 長	年 月 日
提出者の住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)	提出者の氏名(法人にあつては、名称及び代表者名)
	電話 ー

京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第21条第1項の規定により提出します。

年 度	年 度			
作 成 の 年 月 日	年 月 日			
建 築 物	名 称			
	所 在 地			
	事業の用に供する部分の床面積の合計	平方メートル		
	構 造	造 地下 階 地上 階建て		
	事 業 者 の 内 訳	用 途	数	床 面 積 平方メートル
		事 務 所		
		店 舗		
学 校				
そ の 他 ()				
廃棄物の保管場所	再生利用をする廃棄物の保管場所	箇所	平方メートル	
	再生利用をしない廃棄物の保管場所	箇所	平方メートル	
建築物の管理者	氏 名(法人にあつては、名称及び代表者名)			
	住 所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)	電話	ー	

1. 事業系廃棄物減量計画書 及び減量明細の記入方法



- ア 減量計画書表面の記入方法
- イ 各廃棄物の発生量の把握方法(例)
- ウ 再生利用量・廃棄量の書き方(例)

2. 減量計画書裏面の記入方法

新聞紙

購読紙は、A・Bの2紙購読の場合

年度区分	前年度の実績(
	発生量	(A+B)
種類	トン	
新聞紙	0.24	
再生利用可能な紙ごみ		
雑誌		
段ボール		
OA用紙 (秘密書類を除く)		
秘密書類		
シュレッダー紙		
その他の (注1) 雑がみ		
生ごみ		
食べ残し・調理くず・魚アラなど		
燃やすごみ (注2)		
その他 (注3)	()	



(写真の例) 1紙で1カ月 約10kg
 2紙なので10kg × 2紙 × 12カ月 = 240kg = 0.24トン

雑 誌

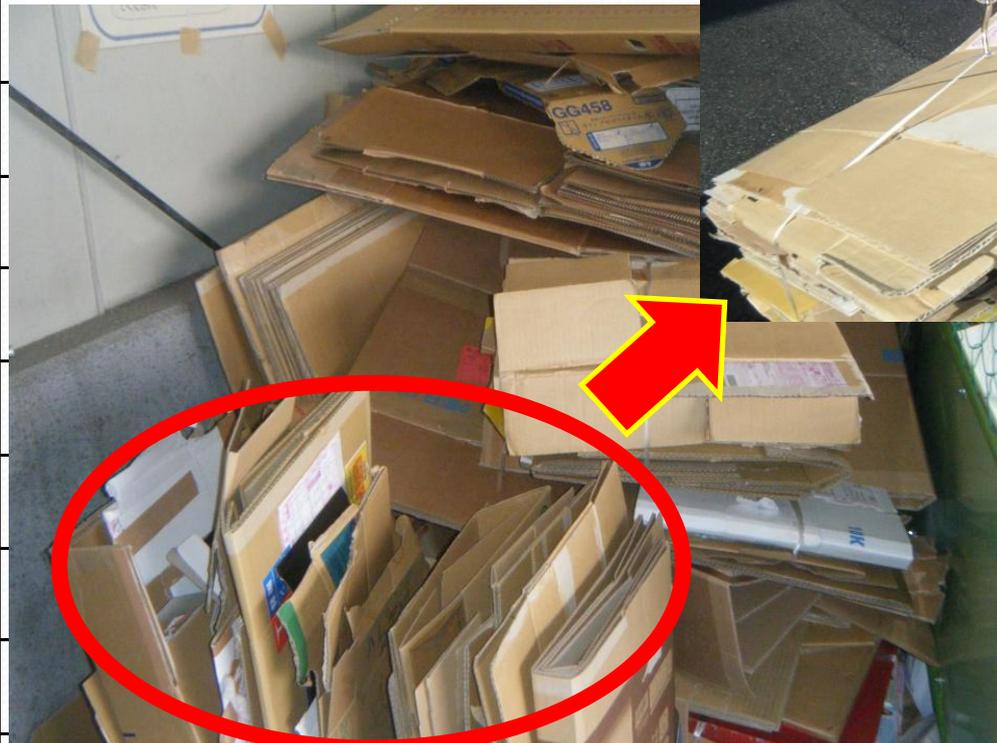
年度区分	前年度の実績(
	発生量	
種類	(A+B)	
	トン	
再生利用可能な紙ごみ	新聞紙	0.24
	雑 誌	0.60
	段ボール	
	OA用紙 (秘密書類を除く)	
	秘密書類	
	シュレッダー紙	
	その他の (注1) 雑がみ	
生ごみ		
食べ残し・調理くず・魚アラなど		
燃やすごみ (注2)		
その他	()	



(注) 新聞紙 1 カ月とほぼ同じ体積の雑誌なら 1 束約**10kg**
 1 カ月5束出る場合は $10\text{kg} \times 5\text{束} \times 12\text{カ月} = 600\text{kg} =$ **0.60トン**

段ボール

年度区分	前年度の実績(
	発生量	(A+B)
種類	トン	
再生利用可能な紙ごみ	新聞紙	0.24
	雑誌	0.60
	段ボール	0.58
	OA用紙 (秘密書類を除く)	
	秘密書類	
	シュレッダー紙	
	その他の (注1) 雑がみ	
生ごみ 食べ残し・調理くず・魚アラなど		
燃やすごみ (注2)		



1カ月の排出量が写真のような場合、

○印の容積が8kgで全体の6分の1だと予測し、

$8\text{kg} \times 6 \times 12\text{カ月} = 576\text{kg} = 0.58\text{トン}$

年度区分		前年度の実績(
		発生量	(A+B)
種類		トン	
再生利用可能な紙ごみ	新聞紙	0.24	
	雑誌	0.60	
	段ボール	0.58	
	OA用紙 (秘密書類を除く)	0.12	
	秘密書類		
	シュレッダー紙		
	その他の (注1) 雑がみ		
生ごみ			
食べ残し・調理くず・魚アラなど			
燃やすごみ (注2)			
その他	()		
(注3)	()		
合計			

OA用紙

10kg



OA用紙一箱約**10kg**で毎月1箱の排出なので
 $10\text{kg} \times 1 \text{箱} \times 12 \text{カ月} = 120\text{kg} = \mathbf{0.12 \text{トン}}$

秘密書類

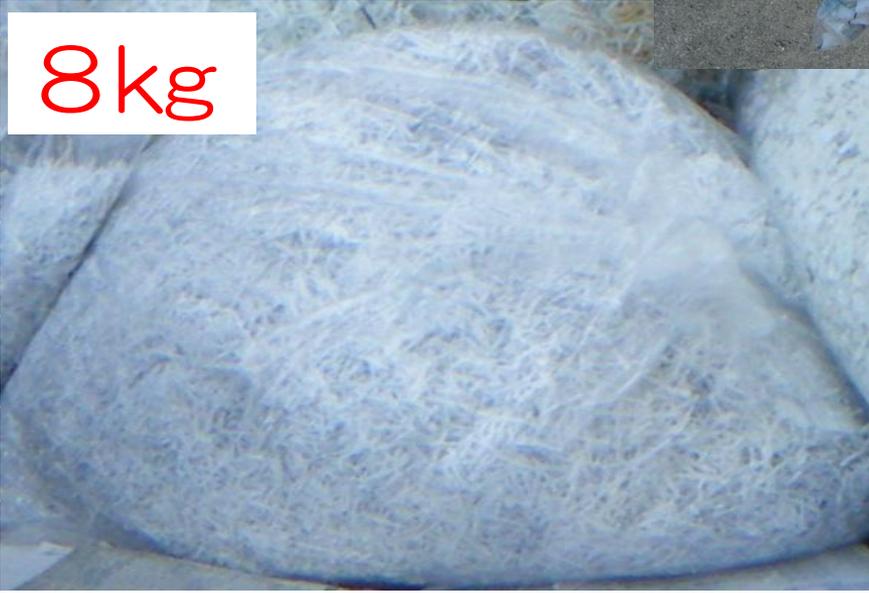
年度区分	前年度の実績(
	発生量	(A+B)
種類	トン	
再生利用可能な紙ごみ	新聞紙	0.24
	雑誌	0.60
	段ボール	0.58
	OA用紙 (秘密書類を除く)	0.12
	秘密書類	3.00
	シュレッダー紙	
生ごみ	その他の (注1) 雑がみ	
	食べ残し・調理くず・魚アラなど	
燃やすごみ (注2)		
その他 (注3)		
合計		



ミカン箱程度のダンボールで1箱 約20kg
 20kg × (年間) 150箱 = 3,000kg = **3.00トン**

シュレッダー紙

年度区分		前年度の実績(
		発生量	(A+B)
種類		トン	
再生利用可能な紙ごみ	新聞紙	0.24	
	雑誌	0.60	
	段ボール	0.58	
	OA用紙 (秘密書類を除く)	0.12	
	秘密書類	3.00	
	シュレッダー紙	1.10	
	その他の (注1) 雑がみ		
生ごみ			
食べ残し・調理くず・魚アラなど			
燃やすごみ (注2)			
その他	()		



90L袋で約8kg・45L袋で約**4kg** (毎日1袋45L袋の場合)
 $4\text{kg} \times 1\text{袋} \times (\text{営業日数}) 275\text{日} = 1,100\text{kg} = \mathbf{1.10\text{トン}}$

年度区分	前年度の実績(
	発生量
種類	(A+B)
	トン

その他の 雑がみ

15kg

再生利用可能な紙ごみ	新聞紙	0.24
	雑誌	0.60
	段ボール	0.58
	OA用紙 (秘密書類を除く)	0.12
	秘密書類	3.00
	シュレッダー紙	1.10
	その他の (注1) 雑がみ	0.18
生ごみ		
食べ残し・調理くず・魚アラなど		
燃やすごみ (注2)		
その の ()		



その他の紙 (雑がみ) 1箱 約15kg 毎月1箱の排出なので
 $15\text{kg} \times 1\text{箱} \times 12\text{カ月} = 180\text{kg} = 0.18\text{トン}$

年度区分		前年度の実績(
		発生量	(A+B)
種類		トン	
再生利用可能な紙ごみ	新聞紙	0.24	
	雑誌	0.60	
	段ボール	0.58	
	OA用紙 (秘密書類を除く)	0.12	
	秘密書類	3.00	
	シュレッダー紙	1.10	
	その他の (注1) 雑がみ	0.18	
	生ごみ 食べ残し・調理くず・魚アラなど	2.20	
	燃やすごみ (注2)		
その	()		

生ごみ



8kg

大きさにかわららず 1袋約**8kg** 毎日1袋
 $8\text{kg} \times 1\text{袋} \times (\text{営業日数}) 275\text{日} = 2,200\text{kg} = \mathbf{2.20\text{トン}}$

燃やすごみ

年度区分		前年度の実績(
		発生量	
種類		(A+B)	
		トン	
再生利用可能な紙ごみ	新聞紙	0.24	
	雑誌	0.60	
	段ボール	0.58	
	OA用紙 (秘密書類を除く)	0.12	
	秘密書類	3.00	
	シュレッダー紙	1.10	
	その他の (注1) 雑がみ	0.18	
生ごみ	2.20		
食べ残し・調理くず・魚アラなど		2.20	
燃やすごみ (注2)		2.20	
その他	()		



ごみ袋 1袋平均約 **2kg** (業種でかなり差があります) 毎日4袋
 $2\text{kg} \times 4\text{袋} \times (\text{営業日数}) 275\text{日} = 2,200\text{kg} = \mathbf{2.20\text{トン}}$

その他（紙おむつ）

年度区分		前年度の実績（	
		発生量	
種類		(A+B)	
		トン	
再生利用可能な紙ごみ	新聞紙	0.24	
	雑誌	0.60	
	段ボール	0.58	
	OA用紙 (秘密書類を除く)	0.12	
	秘密書類	3.00	
	シュレッダー紙	1.10	
	その他の (注1) 雑がみ	0.18	
生ごみ		2.20	
食べ残し・調理くず・魚アラなど		2.20	
燃やすごみ (注2)		2.20	
その他	紙おむつ	11.00	
(注3)	()		
合計			



1日の排出紙おむつの袋数×営業日数
 1袋平均約8kg毎日5袋
 $8\text{kg} \times 5\text{袋} \times (\text{営業日数}) 275\text{日}$
 $= 11,000\text{kg} = 11.00\text{トン}$

その他（剪定枝・落ち葉）

年度区分		前年度の実績
		発生量
		(A+B)
種類		トン
再生利用可能な紙ごみ	新聞紙	0.24
	雑誌	0.60
	段ボール	0.58
	OA用紙 (秘密書類を除く)	0.24
	秘密書類	3.00
	シュレッダー紙	0.58
	その他の (注1) 雑がみ	0.18
	生ごみ 食べ残し・調理くず・魚アラなど	2.20
燃やすごみ (注2)	2.20	
その他 (注3)	紙おむつ	2.20
	落ち葉	0.96
合計		22.18



1週間の排出剪定枝や
落ち葉の袋数×年間週数
(3~6月と9月~11月の6か月間)
1袋平均 **4kg** 1週間で10袋
4kg×10袋×(年間週数) 24週
= 960kg = **0.96トン**

減量明細の裏面へ

産業廃棄物のうち主に資源化できるもの

各廃棄物の発生量の把握方法(例)

廃食用油

年度区分 種類	前年度の実績(
	発生量	(A+B)
		トン
廃食用油		0.22
缶		
びん		
ペットボトル		
プラスチック類 (ビニール, 弁当ガラなど)		
合計		



厨房担当者に聞き取り 1缶約18kg 1カ月1缶の排出
 $18\text{kg} \times 1\text{缶} \times 12\text{カ月} = 216\text{kg} = 0.22\text{トン}$

空き缶・ペットボトル

年度区分	前年度の実績	
	発生量	(A+B)
種類	トン	
廃食用油	0.22	
缶	0.12	
びん		
ペットボトル	0.11	
プラスチック類 (ビニール, 弁当ガラなど)		
合計		

2kg



1.5kg



空き缶 1袋約**2.0kg** 月に5袋
 空きペットボトル 1袋約**1.5kg** 月に6袋
 $2.0\text{kg} \times 5\text{袋} \times 12\text{カ月} = 120\text{kg} = \mathbf{0.12\text{トン}}$
 $1.5\text{kg} \times 6\text{袋} \times 12\text{カ月} = 108\text{kg} = \mathbf{0.11\text{トン}}$

10kg

空きびん

重量計算表



年度区分	前年度の実績(
種類	発生量
	(A+B)
	トン
廃食用油	0.22
缶	0.12
びん	0.12
ペットボトル	0.11
プラスチック類 (ビニール, 弁当ガラなど)	
合計	0.57

種別		重量
ビール	小(334ml)	400
	中(500ml)	475
	大(633ml)	600
	特大(1957ml)	1200
日本酒	一升びん(1.8l)	950
	七合(752ml)	400
ジュース	コーラ・オレンジ (200ml)	400

ビール 1ケース20本 ÷ 9500g = 約10kg

ジュース1ケース24本 ÷ 9600g = 約10kg

(1カ月にビール1ケースの排出)

10kg × 1ケース × 12カ月 = 120kg = 0.12トン

1. 事業系廃棄物減量計画書 及び減量明細の記入方法

ア 減量計画書表面の記入方法

イ 各廃棄物の発生量の把握方法(例)

ウ 再生利用量・廃棄量の書き方(例)

2. 減量計画書裏面の記入方法

古紙回収に依頼されている場合

年度区分 種類	前年度の実績(27年4月～28年3月)			今年度の計画(28年4月～29年3月)			処理方法(委託・自己処理)		量の把握方法 (注4)
	発生量	再生利用量	廃棄量	発生量	再生利用量	廃棄量	委託業者の名称・連絡先 (コード番号等)		
	(A+B)	(A)	(B)	(C+D)	(C)	(D)	資源回収	廃棄物処理	
	トン	トン	トン	トン	トン	トン			
再生利用可能な紙ごみ	新聞紙	0.24	0.24	0.00	0.24	0.24	0.00	古紙回収△△商会 000-0000	
	雑誌	0.60	0.60	0.00	0.60	0.60	0.00	古紙回収△△商会 000-0000	
	段ボール	0.58	0.58	0.00	0.58	0.58	0.00	古紙回収△△商会 000-0000	
	OA用紙 (秘密書類を除く)								
	秘密書類								
	シュレッダー紙								
	その他の(注1) 雑がみ								
生ごみ 食べ残し・調理くず・魚アラなど									
燃やすごみ(注2)									
その他	()								
(注3)	()								
合計							自己処理の場合の処分先		
再生利用率	(A)/(A+B)×100%			(C)/(C+D)×100%					

1. 事業系廃棄物減量明細の記入方法

ア 減量計画書表面の記入方法

イ 各廃棄物の発生量の把握方法

ウ 再生利用量・廃棄量の書き方

2. 減量計画書裏面の記入方法(例)

発生量	前年度	22.75	トン
	今年度(見込み)	22.64	トン

ア+ウ

イ+エ

減量明細の発生量を記入

区分	前年度	今年度計画		
	発生の抑制の取組	再生利用の方策	発生抑制の取組	再生利用の方策
廃棄物の種類				

区分	前年度の実績(27年4月～28年3月)			今年度の計画(28年4月～29年3月)			処理方法(委託・自己処理)		量の処理方法(注3)
	発生量	再生利用量	廃棄量	発生量	再生利用量	廃棄量	委託業者の名称・連絡先(コード番号)	委託業者の名称	
	(A+B)	(A)	(B)	(C+D)	(C)	(D)	※	連絡先	
新聞紙	0.24	0.24	0.00	0.24	0.24	0.00	古紙回収業者 000-0000		
雑紙	0.60	0.60	0.00	0.60	0.60	0.00	同上		
紙ボール	0.58	0.58	0.00	0.58	0.58	0.00	同上		
OA用紙 (再生紙製のもの)				0.12	0.12	0.00	同上		
紙おむつ	3.00	0.00	3.00	3.00	3.00	0.00	996	9	
シメンダー等				1.10	1.10	0.00	古紙回収業者 000-0000		
その他(紙類)				0.18	0.18	0.00	同上		
金ごみ	2.20	0.00	2.20	2.20	0.00	2.20	1		
鉄やステンレス	4.56	0.00	4.56	2.20	0.00	2.20	1		
紙おむつ	11.00	0.00	11.00	11.00	0.00	11.00	1		
落ち葉				0.96	0.96	0.00	堆肥化施設		
合計	22.18	1.42	20.76	22.18	6.78	15.40			
再生利用率	(A)/(A+B)×100%		6.40	(C)/(C+D)×100%		30.57			

ア

イ

区分	前年度の実績(27年4月～28年3月)			今年度の計画(28年4月～29年3月)			処理方法(委託・自己処理)		量の処理方法(注3)
	発生量	再生利用量	廃棄量	発生量	再生利用量	廃棄量	委託業者の名称・連絡先(コード番号)	委託業者の名称	
	(A+B)	(A)	(B)	(C+D)	(C)	(D)	※	連絡先	
食食用油	0.22	0.22	0.00	0.11	0.11	0.00	**化学	000-0000	ア
空き缶	0.12	0.12	0.00	0.12	0.12	0.00	997	000-0000	ウ
空きびん	0.12	0.12	0.00	0.12	0.12	0.00	997	000-0000	ウ
ペットボトル	0.11	0.11	0.00	0.11	0.11	0.00	997	000-0000	ウ
プラスチック類 (容器、包装材等)									イ
合計	0.57	0.57	0.00	0.46	0.46	0.00			
再生利用率	(A)/(A+B)×100%		100.00	(C)/(C+D)×100%		100.00			

ウ

エ

① 業務課長 京都 一郎
② 総務課 循環 良子

発生量	前年度	22.75		トン	
	今年度（見込み）	22.64		トン	
事業系 廃棄物	区分 廃棄物の種類	前年度	今年度計画		
		発生の抑制の取組	再生利用の方策	発生抑制の取組	再生利用の方策
	秘密書類			秘密情報を含む文書の出力の抑制	秘密書類リサイクル業者との契約
	発生の抑制の取組及び再生利用の方策 雑がみ・シュレッダー紙				分別とリサイクル推進
	厨芥類	マイ箸の持参		水切りの徹底	
	その他（落ち葉）				堆肥化施設への搬入変更
再生品の 使用	再生紙	前年度	今年度計画		
		コピー用紙	<input type="checkbox"/> 有（ %） <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 100 %） <input type="checkbox"/> 無	
		トイレットペーパー	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 100 %） <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 100 %） <input type="checkbox"/> 無	
		印刷物	<input type="checkbox"/> 有（ %） <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ %） <input type="checkbox"/> 無	
		その他（ ）	<input type="checkbox"/> 有（ %） <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ %） <input type="checkbox"/> 無	

事業用大規模建築物減量計画書の**完成**です。

		<input type="checkbox"/> 有（ %） <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有（ %） <input type="checkbox"/> 無
--	--	--	--

☆提出先・問い合わせ先

下京・南・西京・東山・山科区及び伏見区の建築物については、
『京都市南部環境共生センター』

北・上京・左京・右京区及び中京区の建築物については、
『北部環境共生センター』へ

☆ご持参・郵送・メールで提出して下さい。

☆ 提出期限

5月31日

